2026年 10月の星空

上旬21時ごろ/中旬20時ごろ/下旬19時ごろ

こよみ

8日 寒露（かんろ）
23日 霜降（そうこう）

月のようす

3日 ◑ 下弦
11日 ● 新月
19日 ◐ 上弦
26日 ○ 満月

<星の明るさ>

- ★ 1等星
- ● 2等星
- ● 3等星
- ・ 4等星以下

今月のみどころ

宵の東の空に、土星が見えてきました。大きな環（わ）があることで有名な天体です。今月の初めに見頃をむかえ、ほぼ一晩中観察することができます。10月24日には、月と土星が近づいて、仲良く並んでいる様子が見られます。涼しくなり、星空観察がしやすくなってきました。秋の夜長、じっくりと星空を眺めるのはいかがでしょうか。

プラネタリウム番組紹介

投影時間は通常、約40分間です。

大迫力！大好評！全天周映像番組

「ムーン・コネクション　一月と星と祈りー」

太古から、人々は夜空を見上げ、月や星に思いを馳せてきました。時に道を見失わないための道標として。時に変わらぬ「たしかなもの」として。時に心を寄せる対象として。世界各地で語り継がれる月の模様の物語。月の満ち欠けが示す時の流れのリズム。そして、不動の存在・北極星への信仰・・・。
今よりもはるかに情報のない時代、先人たちは夜空と深くつながり、暦を生み、物語を紡いできました。それは、天空に輝く月や星との「祈り」にも似た対話だったのかもしれません。ドームいっぱいに広がる美しい星空と、物語を彩る静かな音楽。時空を超えた、宙を巡る旅が始まります。
千葉市科学館オリジナル番組です。

「超巨大恐竜　ゴンドワナ大陸の謎」

恐竜時代、南半球に存在した「ゴンドワナ大陸」。
その実態は謎に包まれていましたが、近年調査が進み、恐竜学の常識を揺るがす発見が相次いでいます。全長 35mにもなる超巨大種や、鬼のような角を生やした大型肉食恐竜など、今まで見たことのない恐竜たちが続々と見つかっております。
さあ、謎に満ちたゴンドワナ大陸の恐竜に迫っていきましょう。

「小惑星クエスト　宇宙の記憶」

太陽系のタイムカプセルともいえる小惑星。発見されているだけでも 140 万個にもおよぶ小惑星には、太陽系の起源を知る手掛かりが数多く残されています。人類は未来へ繋がるその謎を解き明かすため、遥か遠くの小惑星に探査機を送り込み、様々なミッションを行ってきました。小惑星への着陸やサンプルリターンといった革新的なミッションは、宇宙の新たな扉を開く鍵となるでしょう。様々な探査機と共に壮大な宇宙を旅する本格的な宇宙番組です。

「リーベルタース天文台だより」 ※投影時間は約35分間です。

★静かに見られるか心配・・・という方も、声を気にせず見られるプログラムです。★

今日はどんな星が見えるかな？

「30分で星空散歩」 ※投影時間は約35分間です。

今夜見える星や星座の見つけ方を解説する定番の生解説プログラムです。

「ほしぞら学校 ～土星～」

雄大な環をもつ土星。望遠鏡で見たい天体ナンバーワンの惑星です。
15年ごとに起こる「環が消える?」不思議など、土星の最新情報を紹介します。

「リフレッシュタイム」

朝からがんばるあなたへ。満天の星の下で、リフレッシュしませんか?
※料金：300円　投影時間20分間。　未就学児は入場できません。

特別投影

「フィールアロマ ～アロマを感じる星空～」
10月30日・31日 18:30～19:15

料金：高校生以上800円　小・中学生300円　※当日販売・未就学児の入場不可

※プラネタリウム　ご利用のご案内

- ○投影内容・スケジュールは変更することがあります。最新情報は、ホームページなどでご確認ください。
- ○投影10分前より入場開始。投影開始後の入場はできません。
- ○当日分の観覧券は、朝9時より7階受付横の券売機で販売いたします。
- ○未就学児も「観覧券」が必要です。
- ○下記の方は1日1回まで無料です（特別投影を除く）。7階受付にて無料観覧券を発行いたします
  - ・千葉市在住65才以上の方（確認できるものをご提示ください）
  - ・障害者手帳をお持ちの方と、その介護者1名様まで
  - ・「ふれあいパスポート」をお持ちの方（土曜日のみ。ご提示ください）
  - ・科学館メンバー会員の方（メンバーズカードをご提示ください）

このほか全天周の迫力映像、物語・科学番組や特別投影など子どもも大人も楽しめる多彩なラインナップ。くわしくは科学館ホームページでもご覧いただけます。

千葉市科学館
千葉市中央区中央4-5-1 Qiball（きぼーる）内7-10階
TEL 043-308-0511(代表)，https://www.kagakukanQ.com